

# 令和3年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果について

令和3年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査が全国の小・中学校で行われ、結果が公表されました。スポーツ庁の見解では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、令和元年度末から児童生徒を取り巻く環境が一変した結果、全国的に児童生徒の体力レベルの低下傾向が進む状況にあるとのことです。



本道においては、小・中学校の男女全てで例年と同様に「体力合計点」が全国平均に届かない状況となっていますが、本町の児童生徒の結果については、実技調査では、「握力」と「ボール投げ」において小学校5年生男女・中学校2年生男女がともに全国平均を上回りました。また、「上体起こし」と「立ち幅跳び」においては、小学校5年生男女・中学校2年生男女の4区分のうち3つの区分で全国平均を上回りました。「体力合計点」においても、小・中学校の男女全てで全国平均を上回っています。また、経年変化を見ると、小学5年女子と中学2年女子の「体力合計点」が、令和元年度の数値を上回りました。

一方、「50 m走」では小中学校男女ともに全国平均に達しておらず、「反復横跳び」と「シャトルラン」でも4区分中3区分で全国平均を下回っています。

(※緑ゴシック文字は全国平均を上回っています)

		種目	握力	上位起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50 m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
和小5年男子	R1	全国平均	16.4	19.8	33.2	41.7	50.3	9.4	151.5	21.6	53.6
		和寒小平均	19.8	20.2	39.1	43.9	45.8	9.2	164	25.3	57.8
	R3	全国平均	16.2	18.9	33.5	40.4	46.8	9.5	151.4	20.6	52.5
		和寒小平均	18.5	20.6	33.6	37.5	47	9.5	148.8	25.6	53.5
和小5年女子	R1	全国平均	16.1	19	37.6	40.1	40.8	9.6	145.7	13.6	55.6
		和寒小平均	16.7	18.8	39.4	42.8	35.5	9.8	149.4	13.3	55.4
	R3	全国平均	16.1	18.1	37.9	38.7	38.2	9.6	145.2	13.3	54.6
		和寒小平均	17.1	20.1	42.3	38.6	34.3	9.9	152.3	17.3	57.6

		種目	握力	上位起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50 m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
和中2年男子	R1	全国平均	28.7	27	43.5	51.9	83.5	8	195	20.4	41.7
		和寒中平均	30.3	28.7	41.5	44	68.8	8.9	179	22.2	38.6
	R3	全国平均	28.8	26	43.7	51.2	79.9	8	196.4	20.3	41.2
		和寒中平均	30.5	27.6	50.6	53.1	69.5	8.2	198.3	22.1	50
和中2年女子	R1	全国平均	23.8	23.7	46.3	47.3	58.3	8.8	169.9	13	50.2
		和寒中平均	23.4	19.3	39.5	46.5	59.8	9.1	167.6	13.2	46.1
	R3	全国平均	23.4	22.3	46.2	46.3	54.2	8.9	168.2	12.7	48.6
		和寒中平均	25.4	19.6	46	45.3	48.9	9.2	174.1	15.7	48.7

運動習慣・生活習慣等のアンケートでは、「運動やスポーツをすることが好きか」「体育の授業は楽しいか」との設問に肯定的な回答をした児童生徒が9割を超えており、運動に対する意欲が高い傾向にあります。また、朝食を毎日またはほぼ毎日食べている児童生徒の割合が9割を超えるなど、望ましい食習慣が身につけている傾向が見られました。

反面、平日に学習以外でテレビ・DVD・ゲーム・スマホ・PC等を3時間以上利用している児童生徒が、小学校で4割近く、中学校で4割以上と、メディアの利用時間が長いという傾向が見られました。

また、運動やスポーツをする時間が増えたとの回答が約3割、減ったとの回答が約4割と本町でも新型コロナウイルス感染症の影響を受けている面があると捉えることができます。